

# 自然環境体験学習支援活動の紹介

年間2回目・・・夏の成虫観察と里山体験観察



今日の参加者の受付



オリエンテーションで今日の説明



カブトムシの成長段階のおさらい

さあ里山に入って  
探すよ～



初期の生育場所は数か所に分散



探すときの注意事項を聞き開始



お～い どこにいるのかな？



昼の間は土の中にもぐっているみたい



傷付けないようやさしくさがすんだよ。



もしこんな姿を見つけたら葉っぱで蓋をしてそっと埋めておくんだよ。

### 【観察小屋ができた以降の観察】



観察小屋に到着



観察小屋内での生育説明。事前調査はしていないので生育状況は未知状態。



班分けし、班ごとの調査・捕獲作業。年により生育状況に差があるのか、幼虫数と広さの関係があるのか、我々のノウハウが少ないこともあって、成虫の個体数にも年によりかなり差がある模様。もっともっとノウハウの蓄積の必要性を肌で感じることしきり。



どうやら大人たちより子どもたちの方が上手に見つける。参加した子供たちも大喜び。



さあ持帰ってしっかり育てるんだよ。卵も産ませて幼虫～来年の成虫まで。



「どうだったかな？楽しかった？」  
「楽しかった。ありがとう」  
「思っていたより土の深いところまで掘ったら出てきたよ」  
この後は、小枝工作をするからね。

## 【小枝クラフトづくり】

成虫のカブトムシ観察と補遺各作業終了後のお楽しみ



観察小屋からの帰り道では、小枝や木の葉を集めてクラフトづくりに備える。



あらかじめ準備して置いた材料も加え準備完了。



小枝クラフトサンプルも参考に・・・。



よさそうな材料が見つかったかな？





「もうちょっと手を加えるかな？」自由に発想を膨らめます子どもたち。



次々と素晴らしいクラフトが出来上がってくる。「いいお土産がまた一つ増えたね」。スタッフも満足。「この次は秋の里山観察です。楽しみにまた来ててください。待ってるよ〜」。